

◆研究概要等

大学教員になる以前は、東京都に勤務し、環境保全や都市農業、火山災害対策等の地域政策に関する研究を進めてきました。2015年に大学教員となり、中心市街地の活性化、自治体と民間の公民連携等の研究実績があります。2015年に近大に着任し、コロナ禍における地域活性化の取組みについて調査を進めました。直近では、ものづくり産業の持続的発展に向けた取組みに関心があります。



環境・まちづくり系専攻
地域政策研究室
教授

いしはら はじめ

石原 肇

ishihara@socio.kindai.ac.jp



<http://researchmap.jp/ISHIHARAHajime-2015>

■研究テーマ等

1. 都市環境の保全に関する研究

都市地域を研究対象地域とした地球温暖化防止対策、土壌汚染対策、緑化対策等の環境政策に関する地域研究を行っています。

3. 災害対応に関する研究

火山災害や地震に伴う原子力発電所の事故等への地方行政機関の対応行動を地理学的に明らかにし、今後の災害に備えるための研究を行っています。

2. 都市農業の振興に関する研究

都市環境を保全する上で重要なみどりの構成要素である農地の保全を都市農業の振興を含めた地域政策の観点から研究を行っています。

4. 公民連携に関する研究

基礎的自治体と民間企業等との間で結ばれる包括連携協定やその具体的取組みとしての移動販売などのソフト事業における公民連携に関する地域研究を行っています。

5. 中心市街活性化に関する研究

中心市街地の活性化は喫緊の課題であることから、その活性化策の一つであるバルイベントについて、継続的な開催を可能とする要因解明に向けた研究を行っています。



6. ものづくり産業の持続的発展に関する研究

大都市地域ではこれまで住工混在が課題とされてきた中、近年では住工分離政策が見られてきており、ものづくり産業の持続的発展に向けた調査を進めています。



●論文・作品・表彰・特許等

1. 単著「2000年三宅島火山ガス災害－対策の変遷－」『地學雑誌』第115巻第2号, 172-192, 2006
2. 単著「地方自治体における建築物環境配慮制度の比較」『日本地域政策研究』第8号, 159-166, 2010
3. 単著「首都圏の区市町村における事故由来放射性物質に係る空間放射線量率測定のための対応」『土木学会論文集 G (環境)』第68巻第5号, I_297-I_304, 2012
4. 単著「コンビニエンスストアとの地域包括連携協定を結ぶ基礎的自治体の特性」『日本都市学会年報』第52巻, 111-120, 2018
5. 単著『都市農業はみんなで支える時代へ－東京・大阪の農業振興と都市農地新法への期待－』古今書院, pp.243, 2019
6. 単著『コロナ禍における中心市街地活性化策からみた地域のレジリエンス』学術研究出版, pp.222, 2024
7. 単著「大阪府門真市における公民連携による「ものづくり産業」の持続的な発展に向けた取組み」『地域活性研究』第21巻, 191-200, 2024

▲趣味等

まちあるき

◆ゼミの宣伝等

卒研究生には、関心のある事項について、地域を選定し、できるだけ深く掘り下げて調査をしてもらい、新しいことを見つけてもらうように指導を心掛けています。一つのテーマについて時間をかけて考える機会は、人生の中でそうそうあるものではないと思います。卒業論文を提出した際に達成感を感じてもらえるようなゼミにしていきたいと考えています。